

令和4年度 高知県道路利用者会議 高知県要望活動

令和4年12月1日(木)に高知県道路利用者会議(会長：楠瀬 賢一)が、国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所及び土佐国道事務所に「四国8の字ネットワークの整備促進」について要望を行いました。

■要望項目

四国8の字ネットワークの整備促進

- 事業中区間の早期開通
- 未事業化区間の早期事業化

上記要望項目の実現により、日常生活はもとより、観光、産業等のあらゆる面において、道路利用者の安全性や効率が格段に高まり、荷主や乗客の利便性向上にもつながる。コロナ禍からの地域経済の回復を早期に実現させるためにも、よろしく願います。



▲要望活動の状況(楠瀬会長からの説明)

■国土交通省四国地方整備局中村河川国道事務所・土佐国道事務所からの回答

産業・防災等あらゆる面で、四国8の字ネットワークの整備は、“1丁目1番地”の事業であると認識している。

今後、トンネルなどの大型構造物の施工も多数控えているので、予算の確保が重要になる。

国としても、早期開通にむけ、県や市町村、関係機関等と連携しながら取り組んでいくので、ご支援、ご協力をよろしく願います。



▲要望活動の状況(岡本土佐国道事務所長からの回答)



▲左から西村副会長代理(高知県トラック協会専務理事)、樋口副会長(高知県バス協会会長)、田中中村河川国道事務所長、楠瀬会長(高知県ハイヤー・タクシー協議会会長)、岡本土佐国道事務所長、森常任理事(高知県交通安全協会専務理事)